

下水道機構の『新技術情報』 第147号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

関東地方では大気不安定な状況が続いています。自宅のある隣町では先週、大量のひょうが降りました。今週も天気の急変が予想されるそうです。ご注意ください。ちなみに私は、外出する際は、アメッシュを活用しています。

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第147号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・下水道展 '14 大阪開催中企画「らくらく BCP 入門」を開催します！
- ・下水道展 '14 大阪にて審査証明技術のプレゼンを行います！

■機構の動き

- ・今週は、7/1(火)に建設技術審査証明委員会を開催します！

■Tea Break

- ・意匠（デザイン）の話（研究第二部 淀千さんからの投稿です）

■まる子のゆいまーる♪

・今回は、研究第二部の大西総括主任研究員、松岡研究員の海外出張の様子をお届けします！さてどこの国へ？ヒントはカステラの語源！

■国からの情報

- ・6/27 付下水道ホットインフォメーション

インフォメーション（最新の話です）

●下水道展 '14 大阪開催中企画「らくらく BCP 入門」を開催します

発生が懸念される大規模地震に備え、地震対策の実施が急務となっていますが、限られた予算と人員の中においては、対策が十分に進んでいない状況です。このような状況の中、このたび、「下水道展'14」の開催にあわせて、下水道 BCP の策定手法等を学び策定推進に結び付けることを目的として、「らくらく BCP 入門～つくってヨカッタ

B・C・P!～」を、国土交通省水管理・国土保全局下水道部と共同で開催することとしました。

※詳細はこちら

<http://www.jiwet.or.jp/archives/news/%e4%b8%8b%e6%b0%b4%e9%81%93%e5%b1%95-14%e5%a4%a7%e9%98%aa%e9%96%8b%e5%82%ac%e4%b8%ad%e4%bc%81%e7%94%bb%e3%80%8c%e3%82%89%e3%81%8f%e3%82%89%e3%81%8fbc%e5%85%a5%e9%96%80%e3%80%8d%e3%82%92>

●下水道展 '14 大阪にて審査証明技術のプレゼンを行います！

大阪で開催されます下水道展が近づいてきました。

今回、下水道機構では、平成 25 年度建設技術審査証明（下水道技術）技術の紹介を企画しています。平成 25 年度新規技術は、審査証明を取得されました各企業の方から直接わかり易く解説していただきます。ご興味のある方は是非ご参加して下さい。

※詳細はこちら

<http://www.jiwet.or.jp/archives/news/%e4%b8%8b%e6%b0%b4%e9%81%93%e5%b1%95-14%e5%a4%a7%e9%98%aa%e3%81%ab%e3%81%a6%e5%af%a9%e6%9f%bb%e8%a8%bc%e6%98%8e%e6%8a%80%e8%a1%93%e3%81%ae%e3%83%97%e3%83%ac%e3%82%bc%e3%83%b3%e3%82%92>

。。。。

機構の動き （機構の行事予定です）

。。。

●平成 26 年 7 月 1 日(火) 10：00～17:30

行 事：平成 26 年度第 1 回 建設技術審査証明委員会

場 所：機構 8 階特別会議室

内 容：6 年度新規申請案件 11 件、新規継続案件 1 件、変更案件 17 件、更新案件 17 件、25 年度継続案件 2 件の審議

○平成 26 年 7 月 7 日(月) 14：00～15:00

行 事：平成 26 年度審査証明書交付式

場 所：理事長室

内 容：平成 25 年度 建設技術審査証明（下水道技術）審査証明書の交付

○平成 26 年 7 月 9 日(水)

行 事：平成 26 年度第 1 回 新技術設計手法等共同研究委員会

場 所：機構 8 階 中会議室

内 容：下水処理場の効率的運用情報の規格等に関する共同研究（案）（新規）

○平成 26 年 7 月 10 日(木) 17:00～18:00

行 事：第 328 回技術サロン

場 所：機構 8 階 中会議室

ゲスト：国土技術政策総合研究所 下水道機能復旧研究官 尾崎正明 氏

テーマ：『下水道危機管理の現状と課題』

【国土交通省】

- 7月の技術サロンの開催について【(公財)日本下水道新技術機構】
 - 6/28(土)23:00~放送のBS日テレ「中川翔子のマニア☆まにある」はマンホール女子の特集です。
- 【GKP(下水道広報プラットフォーム、事務局:(公社)日本下水道協会)】

- =====
- 太田大臣がミス日本「水の天使」とともに水循環に関連する現地視察及び鼎談を行いました【内閣官房水循環政策本部事務局設立準備室、国土交通省、ミス日本コンテスト事務局】

太田国土交通大臣・水循環政策担当大臣が、水循環に関連する現地として墨田区役所雨水利用施設や、船上から隅田川、神田川、日本橋川を視察するとともに、ミス日本「水の天使」の神田れいみさん、中央大学山田正教授と水循環政策に関する鼎談を行いました。鼎談では、太田大臣から、「水は非常に大事なものだという意識を国民に一段と強くもってもらう事が私の大事な仕事だ」という抱負が述べられました。神田れいみさんも、多くの話を引き出すとともに、一般女性目線からの感想を述べるなど、鼎談の潤滑油としての役割を果たしました。

国土交通省HP http://www.mlit.go.jp/page/kanbo01_hy_003473.html

太田大臣のブログ <http://www.akihiro-ohta.com/blog/cat3/>

- 「日本再興戦略の改訂について」、「経済財政運営と改革の基本方針2014」が閣議決定されました【国土交通省】

6月24日、「日本再興戦略の改訂について」並びに「経済財政運営と改革の基本方針2014」が閣議決定されました。「日本再興戦略の改定について」は、日本経済が確実に成長軌道にのるまでに経済社会情勢の変化に応じて「進化」させていくため、昨年6月に策定した「日本再興戦略」について、この1年間での達成状況を踏まえ追加的に講ずる政策を明確化したものです。下水道に関連する政策としては、PPP/PFIを活用した民間によるインフラ運営、未利用熱エネルギーの活用、インフラ長寿命化計画(行動計画)策定などが記載されています。

「経済財政運営と改革の基本方針2014」は、我が国の経済再生の進展に向けた今年度の経済財政運営の基本方針を定めたものです。下水道に関連する政策としては、東日本大震災からの復興の更なる加速、インフラシステムの輸出、徹底した省エネの推進、再生可能エネルギーの導入促進、オリンピック・パラリンピックを契機とした大都市等の安全・安心対策の推進、国土形成計画の見直し、水素エネルギー技術を含む革新的環境エネルギー技術の開発、循環型社会と自然共生社会の実現、PPP/PFIの推進、インフラ長寿命化計画(行動計画)策定、生活機能サービスの確保・向上、下水道事業等に対する公営企業会計の適用促進などが記載されています。

詳細は、下記HPをご覧ください。

「日本再興戦略の改定について」

首相官邸HP：<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/>

「経済財政運営と改革の基本方針2014」

内閣府HP：<http://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/#container>

●《下水道展併催行事》地震時の危機管理体制の強化に向け「らくらくBCP入門」を開催します【国土交通省、(公財)日本下水道新技術機構】

地震時に下水道施設が被災し機能が停止すると、トイレが使えないことや汚水が市街地に溢水するなど市民生活や都市の衛生環境・水環境に大きな影響が生じます。このため、下水道の耐震化を鋭意進めるとともに、施設が被災した際にも仮設トイレを設置したり可搬式ポンプにより汚水が市街地に溢れないようにするなどの応急対策や事前対策計画を定める計画(下水道BCP;事業継続計画)の策定を国から各地方公共団体に呼びかけています。「らくらくBCP入門」では、既に下水道BCPを策定し訓練を行っている先進地方公共団体による取組紹介、(公財)日本下水道新技術機構による支援技術の紹介、現在策定に取り組んでいる地方公共団体を交えたディスカッションなど、策定促進・普及に向けた方策を共有します。現在、参加地方公共団体を募集中です。下記HPの新着情報からアクセスできます。

(公財)日本下水道新技術機構のHP <http://www.jiwet.or.jp/>

●《下水道展併催行事》厳しい財政状況や人口減少を踏まえた効率的な汚水処理の推進方策を検討します!~未普及解消アクションプラン策定に向けた情報交換会(第1回)の開催~【国土交通省】

汚水処理については、下水道、集落排水、浄化槽など各種汚水処理施設の特徴を活かし、地域における適切な役割分担のもと施設整備を行ってきており、平成24年度末現在で汚水処理人口普及率は88%に達しています。しかし、いまだ約1500万人が汚水処理施設を利用できない状況であることから、今後、迅速かつ実効性のある汚水処理整備を推進する必要があります。そこで、未普及解消に関する先駆的な取り組みを目指す地方公共団体間において、互いの課題や解決に向けた方向性を共有することにより、円滑な事業推進を図ることを目的として下記のとおり開催します。

日時:平成26年7月23日(水)13:00~(2時間程度)

場所:下水道展'14大阪 インテックス大阪 5号館 Bゾーン

(大阪府大阪市住之江区南港北1-5-102)

第1回ではモデル都市による情報交換を中心としていますが、第2回以降につきましては、モデル都市以外の地方公共団体も含めた情報交換を予定しています。お問い合わせは下記担当まで。

担当:国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道事業課 堤

03-5253-8111(内線34234) tsutsumi-n2ce@mlit.go.jp

●平成26年度(第7回)「国土交通大臣賞(循環のみち下水道賞)」を募集しています【国土交通省】

現在、国土交通省下水道部では、平成26年度(第7回)「国土交通大臣賞(循環のみち下水道賞)」の募集を行っています(募集締切:7月18日まで)。現在、下水道政策研究委員会にて審議中の新下水道ビジョン(案)(7/2(水)15:30~(公社)日本下水道協会大会議室において最終的な審議が行われる予定です)では、「循環のみち下水道」の成熟化の方向性や具体施策が示される予定ですが、この内容

に合わせ、循環のみち下水道賞についても部門等の刷新を行います。地方公共団体だけでなく、民間企業、NPO、ボランティア団体、市民団体、学校・教育機関等の方も対象とさせて頂いていますので、積極的なご応募をお待ちしております。

《循環のみち下水道賞の改定内容》

- ・部門構成の刷新及びグランプリ（最優秀賞）の創設。
- ・各市町村からの応募に際して求めていた都道府県知事からの推薦を廃止。
- ・応募調書を見直し、事例の「PRポイント」や「取組みに関するエピソード」の記入欄を設けました。

詳細は、以下のHPをご覧ください。

→（報道発表）平成26年度（第7回）「国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）」の募集について

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000247.html

→循環のみち下水道賞ホームページ（応募要領、応募調書、過去の受賞団体等）

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/crd_sewerage_tk_000085.html

●下水汚泥燃料化施設の着工について【北九州市】

北九州市は6月19日、同市小倉北区の日明浄化センター内において、下水汚泥燃料化施設の起工式を行いました。燃料化施設は、国土交通省の「民間活カイノベーション推進下水道事業」の採択を受け、地元企業の新日鉄住金エンジニアリング(株)が設計・施工、20年間の管理・運営を行うDBO方式により、総事業費45億5千万円で受託したものです。来年10月に稼働予定で、年間約7千トンの燃料化物を生成し、市内の火力発電所等で活用することで、年間約1万1千トンの温室効果ガスが削減されます。また、従来の一般ゴミとの混焼と比べ、処理コストも年間約2億円削減できる見込みです。北九州市はこの燃料化施設を、現在整備中の「水ビジネスの国際戦略拠点」の目玉の一つと位置づけており、ビジネスチャンスの拡大に繋げていく考えです。詳細は、下記HPをご覧ください。

北九州市ホームページ：<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/suidou/04901009.html>

●第2回、第3回流総計画再構築検討会資料のホームページ掲載について

【国土交通省】

国土交通省では、平成24年度に実施された「水環境マネジメント検討会」を踏まえ、社会情勢の変化をふまえつつ、水環境の改善に向けたより効果的・能動的な下水道等管理の実現に向け、平成25年8月に「流総計画再構築検討会」（委員長：岡本誠一郎土木研究所水質チーム上席研究員）を設置し、流総指針の改定について検討しています。このたび、第2回（平成26年1月）、第3回（同3月）流総計画再構築検討会の資料をホームページで公表しましたのでお知らせします。第3回では、指針改定案の審議が行われました。今年度中の流総指針の改定に向けて、今後も検討を進めてまいります。

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000311.html

●内水ハザードマップ作成に向けたブロック別勉強会の開催について

【国土交通省、（公財）日本下水道新技術機構】

国土交通省では、内水ハザードマップの作成及び活用を推進していますが、内水ハザードマップの必要性についての認識が低いことや、内水浸水想定区域を示すための情報が十分に揃っていないなどの課題により、内水ハザードマップの作成が早急に進められない場合があります。そこで、簡易な手法として「浸水実績に基づく内水浸水想定手法」による内水ハザードマップの作成手法を含め、都道府県等が主体となった市町村向けの勉強会を、各地方ブロックごとに開催します。

開催日程（第1陣）7月3日（木）中部地方（三重県）

7月29日（火）中国地方（岡山県）

（その他の地方についても、開催日程が決まり次第、順次ご案内します）

担当：国土交通省水管理・国土保全局下水道部流域管理官

●水辺空間の賑わいの創出のための「夏の水辺楽しみスポット」の情報募集について
【国土交通省】

『国土交通省は賑わいと活力のある水辺の創出を目指す「ミズベリング・プロジェクト」の一環として、「夏の水辺楽しみスポット」の情報募集を行います。』

国土交通省では「ミズベリング・プロジェクト」の一環として、かつての賑わいを失ってしまった日本の水辺の新しい活用の可能性を創造していくため、水辺に対する社会の関心を高め、様々な立場からの参画を得るための取組を推進しています。

昨年度は、水辺の様々な魅力や価値を再認識するとともに、他の地域の水辺の風景に接することにより、今後の水辺づくりを考えるきっかけとなることを目的とした「全国の水辺自慢写真」として風景写真の募集・公表を行いました。今回は、水辺を楽しむスポット情報を集約することに主眼を置いた募集を行うものです。奮ってご応募ください！応募方法等については、下記国土交通省HPをご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000779.html

（関連ページ）

・水辺とまちの未来創造プロジェクトの取組 ～水辺とまちのソーシャルデザイン～

http://www.mlit.go.jp/river/kankyo/main/kankyou/machizukuri/mizube_p.html

・ミズベリング

<http://mizbering.jp/>

●7月の技術サロンの開催について【（公財）日本下水道新技術機構】

当機構では、地方公共団体、民間等の皆様を対象に下水道に係わる最近の話題や新技術に関する交流の場として、毎月第2木曜日、「技術サロン」を開催しています。第328回となる今回の技術サロンは、平成26年7月10日（木）17：00～18：00、当機構（東京・江戸川橋）会議室にて開催します。ゲストは国土技術政策総合研究所下水道研究部 下水道機能復旧研究官 尾崎正明 氏をお迎えして「下水道危機管理の現状と課題」をテーマに開催します。当機構ホームページからWeb申し込みをお願いします。

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

●6/28（土）23：00～放送のBS日テレ「中川翔子のマニア☆まにある」はマンホール女子の特集です。

【GKP（下水道広報プラットホーム、事務局：（公社）日本下水道協会）】

詳細は、下記HPをご覧ください。

BS日テレのHP <http://www.bs4.jp/manimani/>

=====

◆「中川翔子のマニア☆まにある」 マンホール女子の特集<6/28 BS日テレ>

<http://www.bs4.jp/manimani/>

◆汚泥の燃料化施設着工 県内初 日明浄化センター<6/20 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/local/fukuoka/news/20140619-0YTNT50563.html>

◆ふたになった「ひがっしー」<6/20 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/local/tokyotama/news/20140619-0YTNT50624.html>

◆中津川市 新衛生センター福岡に 5年後稼働へ<6/23 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/local/gifu/news/20140622-0YTNT50085.html>

◆下水場で太陽光発電 都、多摩地区に初<6/24 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/local/tokyotama/news/20140623-0YTNT50497.html>

◆ポルトガル水道大手を買収 丸紅と革新機構<6/25 MSN 産経ニュース>

<http://sankei.jp.msn.com/economy/news/140625/biz14062516340019-n1.htm>

◆震災避難場所へ下水処理場から電気 中野・平和の森公園など<6/21 東京新聞>

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/tokyo/20140621/CK2014062102000109.html>

◆朝霞など県内大雨 和光で車が水没 運転女性を救助<6/26 東京新聞>

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/saitama/20140626/CK2014062602000121.html>

◆県内またも激しい雨 床下浸水や鉄道運休も<6/26 東京新聞>

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/tochigi/20140626/CK2014062602000132.html>

◆家での雨水貯留、治水に効果 兵庫県が協力呼び掛け<6/20 神戸新聞>

<http://www.kobe-np.co.jp/news/bousai/201406/0007069285.shtml>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニュースレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20140410/>

○ニュースレタークイズの答えはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20140410/seikai6.pdf>